

# 令和2年度事業計画

本年度の厚生労働省の重点施策としては、健康寿命延伸や生産性向上に向けた政策、地域医療ケアシステム構築、医療従事者の働き方改革や認知症対策の推進、健康寿命延伸に向けて予防・介護づくり、生活習慣病の予防や重症化対策、医療・福祉サービス改革、ロボット・AI、ICTなどの実用化推進が進められようとしている。

そのような社会情勢の中、臨床検査の分野では、臨床検査技師の卒前教育の見直しや医師の働き方改革による医師からのタスクシフト/シェアリングの検討が厚生労働省で進んでおり、その結果によっては、本会も迅速且つ的確な対応が実現できるように万全の準備を進めていく。

本会の令和2年度の重点事業としては、日臨技の組織強化を目的とした47都道府県から選出の理事による理事会運営を中心に据え、連携強化と情報の収集、日臨技会員への迅速な情報伝達に努める。また、従来からの優先処理課題は継承し、組織運営の要となる諸規程の見直しについては継続して行う。精度認証事業としては従来から実施している精度管理事業、精度保証施設認証制度の見直し、「品質・精度管理に係る基準」に対応できる精度保証全般のシステム設計を今年度9月を目途に再構築する。渉外活動としては、厚生労働省で検討が進んでいる「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」の報告書を受け、現行制度で実施可能な行為、法改正により業務拡大された行為の医療機関での定着を目指す。また、厚労省で検討が進められている「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」の報告書を受け、医療現場が求める臨床検査技師養成の観点から、臨地実習指導者講習会の開催、実習ガイドラインの作成、受入れ施設の拡充などを推進する。学術・技術振興の一環として、日臨技と支部学術組織の再編成に向けて、支部学術部長、各部門長との連携を図り、全国学会、支部学会、支部研修会の企画・運用についても検討する。卒後教育の一環として、eラーニングを活用した自己学修支援システムの推進を図り、医療人/社会人スキルアップを目指した自己学修支援の充実を図る他、組織運営の一環として、IT技術・情報システムの更なる活用により、会員の利便性や法人運営の効率化・経費削減・迅速正の確保を進める。

## 1. 公益目的事業 - 精度保証/精度管理事業/公益事業共通 -

「医療法等に関する法律」の一部改正を受け、国民に安心安全な質の高い医療を提供するために、品質・精度保証制度を確立する。また、社会的に評価される仕組みの構築に向けて、臨床検査全般にわたる精度管理、データ標準化、施設認証などを一連の事業として位置づけ、日臨技精度管理事業の信頼度を高めることに努める。医療機関から診療所、業務委託を担う衛生検査所まで運用可能な精度保証施設認証制度の再構築と普及に努め、

精度管理試料の品質を担保し、精度管理調査の精確性を保つための体制の検討や倫理審査の基準等の確保、精度管理責任者の質の確保、都道府県技師会と連携した是正報告などの事業展開を検討する。

#### 【主な事業】

- ア 品質保証施設認証制度の再構築検討（新制度構築・啓発）
- イ 精度管理調査に関わる倫理審査
- ウ 内部精度管理相談窓口
- エ 精度管理調査用試料確保
- オ 包括共同研究・指針・ガイドライン検討
- カ 精度管理サポート事業（是正・改善・立入調査）の検討
- キ 結果・方針・改善方針の検討審議会
- ク 精度管理調査用システム改修
- ケ 精度管理責任者育成講習会（継続）
- コ 臨床検査精度管理事業の実施（継続）
- サ 精度保証施設認証の実施（旧制度による）（継続）
- シ 都道府県へ日臨技臨床化学試料の提供（継続）
- ス 生涯教育研修制度（都道府県委託事業）
- セ 品質・精度保証委員会

## 2. 学術・職能支援事業

### 1) 学術・技術振興

将来にわたって臨床検査技師が医療現場や社会で活躍し続けるために、職能団体としての教育研修のあり方、学術組織の再編成や医学検査学会のあり方、出版事業について検討する。教育研修では、臨地実習推進をはじめ日臨技が推進する人材育成に力点を置いた事業展開を行う。学会運営について専門学会や研究会とは違った魅力のある日本医学検査学会となるように学会のあり方検討を行い、方向性を見出していく。さらに、自己学修支援システム（eラーニング）を活用した卒後教育の充実や、分野ごとの教育教材の充実及び分野別標準作業書の検討、臨床検査の専門性を生かした医療人として国際協力事業を通じたグローバルな人材育成などの事業展開していく。

#### ① 教育研修

地域支援型医療に向けた施策が展開される中、患者に寄り添う医療現場で専門性を生かし活躍できる人材育成に取り組む。生涯教育研修制度の再構築を継続事業とし、人材育成の一環として、新人教育、認定取得、多職種連携医療などの卒後教育をステップアップ型の生涯教育として検討する。また、社会人スキルアップを目指した自己学修支

援システム（eラーニング）の活用を推進する。

また、養成校教育カリキュラムの見直しに合わせて、臨地実習指導者講習会の開催、実習ガイドラインの作成、受入れ施設の拡充。「タスク・シスト/シェアの推進に関する検討会」の進捗状況から臨床検査技師に対して移管可能とする業務に関して、新たな厚生労働省指定講習会開催などを検討する。

#### 【主な事業】

- ア 新生涯教育あり方検討事業（新生涯教育制度支援/eラーニング）
- イ 医療安全管理推進事業
- ウ 初級・職能開発講習会
- エ 職能拡大推進事業
- オ チーム医療推進事業（病棟・在宅・認知症含む）
- カ 災害対策強化事業
- キ 臨地実習推進事業
- ク 乳房超音波研修会
- ケ 輸血テクニカルセミナー
- コ 耳鼻科領域検査啓発推進事業
- サ 遺伝子医療技術研修会
- シ がんゲノムコーディネーター（基礎）講習会
- ス 臨床検査技師への新たな厚生労働省指定講習会

## ② 国際協力

国際協力事業については、諸外国との学術を通じた友好関係を推進する。また、グローバルな人材育成の一環で、海外短期留学（米国 ASCP）を継続すると共に、若手技師に対する海外学会発表の支援体制について検討する。

開発途上国への技術支援として、2017年から行なってきた国立国際医療センターの「医療技術等国際展開推進事業」の3年間の事業につき総括とフォローアップを行う。（カンボジア技師会との精度管理事業）

#### 【主な事業】

- ア 日韓交流継続、発表者支援
- イ 台湾技師会学術交流
- ウ IFBLS・AAMLS への役員派遣
- エ 海外短期留学制度への支援
- オ 発展途上国への技術支援
- カ IFBLS2020（デンマーク）への派遣

## ③ 会誌発行

学術誌としての「医学検査」を年4回発刊し、J-STAGE への掲載を含めて充実を図るとともに、標準的な知識や技術を網羅した会誌とする。

【主な事業】

- ア 「医学検査」の充実
- イ 「医学検査」特集号

#### ④ 学会運営

第69回日本医学検査学会（福島県臨床検査技師会担当）の開催に向けた準備作業を進める。日常業務に活かせる研究や検討について発表ならびに討論し、情報交流を活発に行い人的ネットワークが広がる充実した学会となるよう運営に努める。第70回日本医学検査学会（福岡県臨床衛生検査技師会担当）、第71回日本医学検査学会（大阪府臨床検査技師会担当）の開催に向けた準備を進める。また、日本医学検査学会の開催地の選定方法ならびに運営や企画内容について検討を行う。

【主な事業】

- ア 第69回日本医学検査学会の開催
- イ 第70回日本医学検査学会の開催準備
- ウ 第71回日本医学検査学会の開催準備

#### ⑤ 出版

JAMT 技術教本シリーズの発刊。従来出版物の管理。JAMT 技術教本シリーズの初版から5年以上経過したことを踏まえ、必要に応じて改訂版の発行に向けて検討する。

【主な事業】

- ア JAMT 技術教本シリーズの発刊・改編
- イ 日臨技従来出版物の管理

#### ⑥ 支部運営

支部の活性化と都道府県技師会との連携を推進するため、支部長連絡会議、支部幹事会、支部内連絡会において、支部運営状況を確認、課題を明確化し検討事項に取り組む。

【主な事業】

- ア 支部学会
- イ 支部研修会
- ウ 支部の運営
- エ 学生フォーラム

## 2) 認定

各認定制度を継続すると共に、認定取得者の促進を目的に「自己学修支援システム(e

ラーニングシステム)」に受験準備のための各認定受験カリキュラム内容のコンテンツ化を進め、会員の自己学修支援の環境を整える。「日臨技認定センターHP」から登録した会員に対する認定関連研修会内容などのメルマガによる情報発信と共に認定受験申請、更新申請の簡素化を目指したシステム改修に取り組む。新たに改変した医療技術部門管理資格認定制度の構築を進める。認定受験、更新指定講習会など受講環境を整える目的で、全国・支部学会での開催（スキルアップ研修会）に向けて検討する。

#### 【主な事業】

- ア 各種認定技師制度の運用（一般／染色体遺伝子／心電／病理／認知症領域／臨床化学・免役化学精度保証管理／救急／医療技術部門管理資格）
- イ 医療技術部門管理資格認定制度を踏まえた医療管理者資格認定のあり方の検討
- ウ 各種認定取得・更新に向けた学修コンテンツ（eラーニング）の継続作成
- エ 認定試験作問のシステム化

### 3. 渉外・組織強化事業

#### 1) 渉外

厚労省「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」で示される検討結果を臨床の場で実践していくための方策を検討・立案しその実行を推し進める。令和2年診療報酬改定の分析を行い、次期診療報酬改定へ向けての基礎的調査・検討を行う。厚労省「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」で示される検討結果を踏まえ、教育研修部門と共同し臨床実習の教育・指導体制の整備を進める。臨床検査の職域拡大、制度の見直し、社会的地位の向上等を念頭に置き政策要望を立案し、関係各所への働きかけを行う。

#### 【主な事業】

- ア 渉外政策推進事業
- イ 診療報酬改定関連調査

#### 2) 組織強化

##### ①組織対策

組織運営として、日臨技、支部体制、都道府県技師会との連携強化に向け会員にとって有益な事業展開をするため、定款・諸規程の見直しと定款と諸規程の整合性について検討する。また、会員の利便性や法人運営の効率化・経費削減・正確性の確保を追究することを目的に、IT技術・情報システムの更なる推進を検討する。組織強化の一環として、次世代の人材確保と育成を目指して「初級職能開発講習会」を継続する。優秀な学生確保により、優秀な臨床検査技師の輩出に繋がる事業として臨床検査技師養成校と共同して行う「中高生進路ガイダンス」の開催に向けて支援する。

#### 【主な事業】

- ア 定款諸規程検討
- イ 中高生向け進路支援
- ウ 地域ニューリーダー育成
- エ 会員のための保険制度
- オ 各種広報ツール制作
- カ データ解析事業

#### ②組織運営

日臨技及び支部、都道府県技師会との連携を強化し、日臨技事業の更なる推進を図る。各事案に対し、迅速かつ的確に対応するため部会、ワーキング会議制を継承し、事業運営上の課題、他団体への対応、会員から提起させる問題や改善要求などを検討し、懸案事項について効率的な解決を目指す。また、令和4年には日臨技創立70周年を迎えることから、記念誌の発刊・記念式典の開催も含めて具体的な確認作業をスタートする。

#### 【主な事業】

- ア 組織の運営
- イ 倫理規程の強化・会員倫理周知徹底
- ウ 表彰事業
- エ 賀詞交換会
- オ HP 対応・賛助会員管理
- カ 日臨技アンケートシステム
- キ 情報発信システム運用
- ク WEB 会議システム
- ケ JAMT アプリ（仮称）
- コ 総会
- サ 日臨技70周年記念事業
- シ 執行体制強化

#### ③国民医療向上／安全対策

国民医療向上／安全対策事業として、臨床検査に関する正しい知識の普及、啓発を目的に、11月の「臨床検査月間」にあわせて、中央会場を含む47都道府県技師会主催で全国「検査と健康展」開催の事業を継続する。また、国民向け季刊広報誌「Pipette」に関しては、今年度春号からリニューアルし発刊予定である。季刊広報誌「Pipette」は臨床検査技師の社会的認知度向上を目指した国民向け季刊広報誌であり、今後も発刊を継続すると共に、その企画内容等についても随時柔軟に対応していく。

#### 【主な事業】

- ア 季刊広報誌「Pipette」の発刊
- イ 全国「検査と健康展」開催

#### ④就労支援

就労支援については、都道府県技師会との連携やホームページの活用を含め、現状に合った支援のあり方を検討する。

##### 【主な事業】

- ア 就労支援対応

#### ⑤事務運営

事務管理として、総務課、事業課、政策調査課の事務所掌および事務局担当者を明確にし、業務運営の安定化と効率化を図る。また、事業調書ごとに執行状況を四半期単位で管理し、担当理事と事務局担当者で情報共有と連携に努め、確実な事務運営と適正な予算執行に努める。

##### 【主な事業】

- ア 事務局体制の強化

#### ⑦ 会員管理

会員管理については、会員拡大の取組みとして、他分野（CRC、診療情報管理士など）で活躍する検査技師、専門学会のみ会員、都道府県のみ会員および出産育児、介護など中途退会者の再入会など入会促進に取組み、令和2年度会費納入者数 68,000 名を目標に事業展開する。

##### 【主な事業】

- ア 会員数計画、会費収益増収

#### ⑧ 共済

会員への相互扶助の仕組みを良好に運用するために、全員加入保険（業務中の賠償事故補償／会務中のケガの補償）と重複している内容については細則の改定を実施する。また、共済制度の会員周知をするために情報発信に努める。

##### 【主な事業】

- ア 共済制度による相互扶助

#### ⑨ 会館

会館については、平成30年度の現状調査を踏まえた中長期修繕計画（30年計画）を基に修繕を行う。

- ア 中長期修繕計画の実施

以上